

令和 4 年度 県立水海道第一高等学校附属中学校自己評価表

目指す学校像	・ 将来を担う人材を育成する学校 ・ 地域に貢献する学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
	授業の充実と学習習慣の確立	① 言語活動を充実させ、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう授業の工夫・改善をし、ICT の日常的な活用により個別最適な学びと協働的な学びを展開する。	A
		② 授業時間、授業時数のメリットを活かす。特に、数学科・英語科においては少人数授業を展開し、きめ細かな指導を充実させる。	B
		③ 授業を大切にし、授業以外でも生徒の質問等に答える。課外も適切に設定し、将来の進路希望実現に資する学力の向上を図る。	A
		④ 教員のさらなる授業の質の向上を目指して、授業に係る研修機会の確保と充実に努める。	B
	基本的生活習慣の確立	⑤ 生徒とのコミュニケーションを通して基本的生活習慣の指導を図り、海校生として品位ある行動を確立させる。	A
		⑥ 二人担任制を生かし、担任と生徒による個別面談を通して一人一人の悩みや不安に寄り添い、生徒理解に努める。教育相談体制を充実させ専門家の積極的・効果的な活用と関係機関との連携に努める。	A
	特別活動の充実	⑦ 学校行事、学級活動、生徒会活動などの特別活動の充実を図り、至誠、剛健、快活の精神の確立に努める。	A
		⑧ 可能な限り高校と連携した特別活動を計画し、各行事の円滑な実施と充実に努め、新たな伝統の創造を目指す。	B
	保護者・地域との連携	⑨ スクールガイド、学校説明会、ホームページの定期的な更新および広報誌等を通して積極的に発信する。	A
		⑩ 学校と地域の役割分担を明確にした上での連携を推進し、生徒の積	B

別紙様式 2 (中)

			極的なボランティア活動を推進する。		
		コンプライアンスと働き方改革	⑪ 信用失墜行為を絶対にしない。		A
			⑫ 月の超過在校等時間が 45 時間を超えないようにする。		B
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度（学期）への主な課題
国語	国語の学習に対する意欲・関心を高める。	授業方法を工夫改善し、指導方法に対する研究を深める。	A	A	・ I C Tを使う機会をさらに増やせるように工夫していく。
		I C T機器の活用を推し進めて、より教育効果の高い学習指導の充実に努める。	B		
	学習習慣の定着と基礎学力の向上に努める。	小テストや課題等によって、学習時間を充実させる。	A		
		問題演習を行い、文法や単語の知識を解釈に活用する力を養う。	A		
社会	主体的・対話的で深い学びを実践する。	グループワークやリフレクションなど生徒主体の学習を通じて、社会的事象への関心を高める。	A	B	・問いを中心とした、生徒が主体的に考え表現する時間を確保する。
		授業等を通して自らの思考を、論理的に表現する力の育成を図るため、ICT 機器を活用など授業の充実に努める。	B		・課題に応じた ICT ツールの研究を進めるとともに、授業内での活用を進める。
	社会学習のための知識基盤を形成する。	授業・課題で多様な社会的事象を取り上げ、基礎的知識、社会的な見方考え方に通じる概念の獲得、定着を図る。	B		・生徒の学力に応じて課題の難易度の調整を行う。
数学	学習習慣の定着と基礎学力の向上に努める。	習熟度別指導やグループ学習を効果的に使い分け、学習意欲を喚起し、基礎学力の確立を図る。	B	A	・ T T や習熟度別指導、グループ学習を使い分け、基礎学力の確立を図る。
		年間の指導計画に基づいて、週末課題や小テスト、章末テストを実施し、学習習慣と基礎学力の定着を図る。	A		・課題や章末テストを計画的に実施し、生徒の学習習慣の定着や基礎力の向上に努める。
	様々な数学的な見方や考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する。	授業時における発問を工夫し、数学と実社会との関連について考え、アウトプットする機会を多くする。	A		・ ICT 機器を活用した授業の研究を進めるとともに、ICT 機器の活用を通して、学習意欲の向上や理解を深化させる。
理科	基礎力の定着を図り、メリハリがありわかりやすい授業を展開する。	学習内容が関連して理解できるよう、わかりやすい授業を構成して実施する。さらに、小テストやレポート等を課し、普段の授業理解を確認する。	A	A	・理解度に合わせた課題やテストの難易度の調整を行う。
		演示や考察を含めた実験、デジタル教材やアクティブラーニングなどを導入し、メリハリのある授業を展開する。	B		・タブレットを積極的に活用し、実験結果の整理や考察時の話し合い活動を充実させる。

別紙様式 2 (中)

音楽	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育む。表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができるようにする。	A	A	・ICT 機器を活用した授業の研究を進める。
美術	感性や想像力を働かせ、造形的な視点を持ち、生活や社会の中の美術や美術文化と関わる能力を育成する。	生徒一人一人が自分の心情や考えを生き生きとイメージし、表現する活動を展開する。	B	B	・授業の手順を今以上に明確化していく。
		よさや美しさなどを主体的に感じ取り、作者の心情や美術文化について考える見方・感じ方を深める鑑賞活動を行う。	B		・各課題で必ず鑑賞活動を行う。
保健体育	基礎的運動能力、体力の向上を目指す。	持久走の単元を生かして、有酸素運動能力の向上を目指す。	A	B	・適切な目標設定の助言と正しいフォームでの走法をペアで確認させる。
		体ほぐし及び身体づくりの運動を積極的に取り入れ、上肢と体幹の筋力、走力の向上を目指す。	B		・ダッシュ以外に投力や筋力アップの補助運動を毎時取り入れる。
	主体的に体育・スポーツに関わる習慣を身に付ける。	運動と健康のつながりを理解させるとともに、スモールステップによる成功体験の機会を増やし、意欲を高めることで生徒主体の活動を促し、運動習慣の定着を図る。	B		・日常でも取り入れられる運動の提示を行う。
技術・家庭	生活を工夫し創造しようとする実践的な態度の育成を推進する。	学習過程の中で生活の営みに係る見方、考え方を働かせる授業の工夫を行う。また、教材整備指針に基づいた教材の計画的な整備と定期的な保守点検を行う。	B	B	・各課題でPDCAサイクルを確立する。
		生活と技術についての基礎的な理解を図り、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度の育成に努める。	B		・実生活で活きる課題解決学習を実施する。
外国語	主体的に学習に取り組む態度を培い、グローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力の育成を目指す。	授業内外での実践的な活動及び4技能を統合させた言語活動を通して、コミュニケーションをとるための基本的な知識と技能の定着を図る。	B	A	・生徒の基礎的・基本的な英語力を伸ばす学習指導と内発的動機付けを高める働きかけに努める。 ・日常生活で活用できる指導の工夫をする。
		ICT 機器の活用や少人数での授業展開を通して、日常的な話題や社会的な話題について情報を整理しながら英語で表現したり、伝え合ったりする力の定着を図る。	A		
		授業の振り返り等を通して生徒の自らの学習を調整する力を育成し、学習サイト等を活用して主体的に学習に取り組む態度の定着を目指す。	A		
教務	授業の充実による学力向上	「わかる授業」を展開するために授業の工夫や指導体制の改善を行い、「校内相互授業参観」週間を充実させるなど、研修体制を整える。校外で行われる研修会へも積極的に参加するように促し、授業改善へとつなげる。	A	A	・引き続き授業の工夫や指導体制の改善に努め、デジタル機器の活用を含めた校内外での研修等の充実を目指す。
	適切な教育課程の編成	他の小中学校とも情報交換を密にし、生徒の学力や希望にあった教育課程を研究する。魅力ある学校づくりを目指して、各教科や分掌との連携を図る。	B		・中高一貫校の特性を生かした教育課程の編成を引き続き進める。
	入試広報活動の充実	学校内外の「学校説明会」の場を利用し、小学生・保護者の本校への興味・関心を高める。小学校や塾訪問を行い、本校の教育目標や活動について積極的な広報に努める。	B		・「学校説明会」等の対面での広報活動に加え、ホームページ等のオンラインによる広報

別紙様式 2 (中)

					活動を強化する。
	地域との連携を目指した広報活動	生徒の積極的な地域イベントへの参加やホームページの充実と積極的な情報発信に努める。	A		・引き続き地域イベントへの参加を教育活動に繋げていく。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	服装・頭髮指導の徹底を図るとともに、時間を守ることができる生徒を育成する。	B	B	・事前に指導する基準を学年職員と共通理解を図る。
	マナーの向上（交通・挨拶等）	交通マナーアップ運動や交通安全教室等を通して交通マナーの向上に努める。	B		・交通安全教室を高校と同時に行う。
		朝の登校立哨・あいさつ運動などを通してマナーの向上とコミュニケーションの充実を図る。	B		・委員会活動の一環として定期的な挨拶運動を実施する。
		スマートフォンの利用のルールを設定し、校内での使い方や SNS のトラブルに巻き込まれないよう注意を促す。	B		・スマホの使い方については、家での使い方も含めて指導していく。
進路指導	キャリア教育の推進と学力向上	高校と連携し、生徒の進路意識の高揚を図るとともに、授業を中心とした主体的かつ計画的な学習を促進させる。	B	A	・高等学校との連携を、もっと強化していく。
		学年と連携し、進路講演会やガイダンスを通して、情報提供と生徒の啓発に努める。	A		
		高校進学後に多くの生徒が具体的で、高い進路目標がもてるように導く。	A		
	進路情報の活用	6年間の学習成績と最終的な大学の可否がリンクした形でのシステムを構築し、職員研修等を実施して、進路指導における有効活用を図る。	B		
特活指導	生徒会・委員会活動の充実	学校行事での生徒会の自主的、自発的な活動を尊重し、生徒が自ら考え、計画立案ができるようにする。また、学校生活の充実と向上を図る。	B	B	・生徒会組織の見直し、精選を行う。
		各種委員会で校内活動を中心に、学校生活をよりよくするための活動を行う。	B		・年間の活動、活動内容を年度初めに確認する。
	ボランティア活動を通じた社会参画	ボランティア活動を通して、他校や、地域の人々との交流を図り、地域の社会づくりに参画しながら、地域貢献を目指す。	B		・地域ボランティア活動に参加する機会を設ける。
	キャリアパスポートの活用	キャリアパスポートを積極的に活用し、キャリアプランニング能力を高める。	B		・目標設定と振り返りの時間を設定する。
保健厚生	生徒の健康保持及び増進	熱中症や食中毒及びインフルエンザ等の感染症の予防対策を推進する。	B	A	・生徒の健康・防災への意識増進を図る活動をより進めていく。
		保健室来室者の現状を把握し、保護者・関係職員と連携し、健康回復を目指す。	A		
		防火防災訓練を実施し、防災意識の向上を図る。	A		
	教育環境の美化	清掃の徹底とごみの分別などの環境美化活動を推進する。	B		・日々の清掃活動を通じて、環境美化の意識を育てる。
		空調機器の健康的かつ効率的な運用を図る。	A		
	メンタルヘルスケアの充実	スクールカウンセリングを定期的に実施し（年 30 回以上）、生徒及び保護者の精神的支援に努める。	A		・スクールカウンセラーや外部機関との連携を図り、生徒の抱える課題や悩みに迅速に
		カウンセリング前後に関係者との連絡協議を行い、必要に応じて外部機関との連携を図る。	A		

別紙様式 2 (中)

					対応していく。
	特別支援体制の充実	学校生活上、特別な配慮を必要とする生徒に適切な支援を行う。	B		・生徒・保護者の多様なニーズに応じた支援やその周知を図っていく。
		学校HPやSC通信活用して、特別支援者への理解と周知を図る。	A		
渉外	P T Aの活性化を図る	本部役員を中心に会員全体が協力し、充実したP T A活動の実施に努める。	A	A	・P T A総会の開催方法を検討する。
	各行事の充実	各行事等における保護者への積極的な呼びかけにより（HPの活用）、保護者の意識を高める。	A		
図書	図書環境と出版物内容の充実	常時開放・常時閲覧を推進する。パソコンでの蔵書管理により新刊図書の紹介を円滑に行い、読書や探求学習を援助する。センターホールの有効活用をする。済美の発行を行う。	B	B	・図書館ガイダンスの充実を図る。 ・デジタルサイネージを利用した広報を進める。 ・中学生の時間割に合わせて図書館の利用方法を工夫する。
第1学年	学習習慣を確立し、主体的に学習に取り組む生徒の育成	授業や課題に通し、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒が主体的に学ぶことができるように、「学び方」についての学習指導を行う。	A	A	・次年度も引き続き、学習意欲向上や基礎学力向上を図っていく。
		スコラ手帳の活用を通し、見通しをもって自主的に学習に取り組む態度を育成すると共に、面談を定期的に行い、個に応じた助言や支援を行う。	A		
	礼儀正しく、他者と協働することができる生徒の育成	学級活動や道徳の授業を通して、礼儀正しく生活する態度と互いの人権を尊重する態度を育てる。	A	A	・次年度も引き続き、規範意識や社会性の向上を図っていく。
		きちんとした返事やあいさつができ、お互いに声をかけ活動できるような集団づくりを心がける生活指導を行う。	A		
	主体的に考え、判断し、行動することができる生徒の育成	各活動を計画的に実施するとともに活動方法についての助言をし、学習・学級活動・学校行事を生徒主体で行うことができるようにする。	A	A	・次年度は、より生徒主体の活動を増やしていく。
		各学習活動で探究学習を実施し、自分で問いを立て、考え、納得解を出せるように支援する。	A		

※ 評価規準：A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない